



卒業おめでとう

ー みなさんの新たな船出によせてー

白門経友会会長・経済学部教授 松丸 和夫

二〇一一年の日本列島は厳しい寒さと豪雪に見舞われて始まりました。長く暑かつた去年の夏、みんなはそれぞの課題に向かって、本当に汗まみれになつて奮闘されていました。彼らは、自分たちの人生で得た友人や先輩、そして大学教職員に相談してみ

欲をなくした人はいませんか。こんなはずじゃなかつた、もつとがんばれば良かったと後から反省する人も多いでしよう。

偶然に二〇一一年の春に大学を卒業する皆さんの世代は、二、三学年

業から採用内定をもらった人も、安んじることなく将来のキャリア形成のために、悩み、模索の連続だったのではないかでしょう。公務員採用試験の本番を控え、追い込みで休む暇もなく机に向かっていた人もいるでしょう。夏が過ぎて秋の気配を感じながら、企業訪問や最終面接で、焦りを感じながら満員電車に揺られ続けた人もいるでしょう。なかなか内定が出ず、卒業後の展望を失い、心が折れ、意

向を失っていた人もいるでしょう。上級の先輩達と比べて、まさに「就職氷河期」の再来という困難な氷壁に翻弄されましたがね。大学を卒業するけれど、まだ今後の予定が立つてない人、素直に喜べない心境の人が多いことを私は知っています。

それでも私は敢えて言います、卒業おめでとう。大学を卒業すれば、みなさんはもはや学生ではない、とも人生には完全も完成もないのですから、みんなの新しいスタートを喜んで送り出したい。それが皆さんの母校となる中央大学に残された者の本音です。そして、またいつでも母校に「元気でもどつておいで」と呼びかけたい気持ちです。

よく社会人になると学生の時のようには甘くはない、と警句が發せられ

ます。確かにそうなのですが、現実の社会には法律や常識、意欲や善意だけでは解決しない問題ばかりです。そんなときこそ、これまでの人生で得た友人や先輩、そして大学教職員に相談してみましょう。

白門経友会は、第一に経済学部の

卒業生の集まりです。第二に、現役の学生も会員です。会費は頂きませぬが、いろいろな行事等で卒業生で多いためです。

偶然に二〇一一年の春に大学を卒業する皆さんの世代は、二、三学年

上級の先輩達と比べて、まさに「就職氷河期」の再来という困難な氷壁に翻弄されましたがね。大学を卒業するけれど、まだ今後の予定が立つてない人、素直に喜べない心境の人が多いことを私は知っています。

それでも私は敢えて言います、卒業おめでとう。大学を卒業すれば、みなさんはもはや学生ではない、とも人生には完全も完成もないのですから、みんなの新しいスタートを喜んで送り出したい。それが皆さんの母校となる中央大学に残された者の本音です。そして、またいつでも母校に「元気でもどつておいで」と呼びかけたい気持ちです。

よく社会人になると学生の時のようには甘くはない、と警句が發せられ

白門経友会

経済学部二年生

栗原 彩



キャリアデザイン授業に参加して

人間は一人では生きられない、人ではなかなか強くなれない。だからこそ、白門経友会は緩やかなつながりと結びつきを大事にしながら、現役学生から卒業生の大先輩までを包摂する組織としてこれまで二〇余年の歴史を継続してきました。

この度ご卒業される新入生のみなさん、母校中央大学と経済学部に誇りを持ち、そして愛して下さい。そしていつでも、「ただいま」と元気な姿を私たちに見せて下さい。白門経友会は、いつでもみなさんのそばにいて、お役に立てるよう努力します。元気でいてらっしゃい。

そして、特定の職業にまで将来が定まらなくとも、社会人としての理想像をイメージすることができます。社会人になつたら自分のどんな長所を生かせる仕事に就きたいかというような目標を立てる事ができました。この授業では、同じことに取り組む場合でも、自分の中でのやり方を少し意識したり、向上心を持つてことに当たるということが実はとても大事で、そのことが自分を変えてくれるということを教わりました。こういった考え方を頭に置き、この授業で学んだことを今後に生かして充



経済学部二年生

私がキャリアデザインの授業で最も
高田圭悟さんの講義です。

保坂
まみ

企業が求める人材や自分自身にプラスになるようなお話を聴かせていただき、それについて考えたり、実際に再現してみたりと、とても貴重な時間でした。

また、面接や実際に就職してからは自分の意見をはつきり言える事はとても重要ですが、「聞く事」も重要だと学びました。自分の意見を述べるだけではなく、他の人の意見から吸収出来る部分もあると思います。高田さんは、アルバイトは社会の勉強が出来るとおっしゃっていました。私は居酒屋でアルバイトをしています。居酒屋でのアルバイトは忙しい中でお客様に対する態度だつたり、期待に応える事がとても社会勉強になるといいます。確かに、お客様に対する態度は以外に難しく、悩む事もあります。しかし、このようなお話を聴いて、将来の自分にとつて何か得るものがあるだろうと思えるようになりました。

弱みを認め、普段からコミュニケーション力を学び、「聞く事」はアルバイトを通して、学んでいこうと思いました。

インターシップを体験して



「小学館集英社ブ」「ダウシ」の
インター・ンシップを体験して

経済学部経済学科三年
伊藤友紀

◆事前学習の内容について

私がインターネットの履修を決めた最大の理由は実際に社会の中で働く方々の近くで就業体験をしてみたいと思ったからです。最近ニュースなどで就職氷河期という言葉を目にする機会が増え私たちにとつては非常に厳しい状況となつてお、就

では大きく分けて次の二つの活動を行ってきました。一つは週一回の授業で行うPBL学習で

私は今回夏季休業中に小学館集英社プロダクションの江戸文化歴史検定協会で計十日間就業体験をさせていただきました。実際に経験させていただいたことは社内見学、打ち合わせ同席、電話対応、印刷物コピー・発送準備、検定告知パンフレット設置などです。

職活動に對してかなりの不安を感じています。私はこの不安を解消するために今までとりえずさまざまな資格試験の勉強をしてきました。しかし、これらの資格が就職活動、あるいは社会に出てから本当に役に立つか疑問に感じているのが正直なところでした。

そこで新たに自分が成長できる良い機会になると思いこのインターーンシップの履修を決めました。さまざまなコースが開講されていましたが、インターーンシップ受講ガイダンスの中で担当の平松裕子先生が企業における業務評価は主に問題発見解決能力とコミュニケーション能力であるというお話をされ、それに対しても強い関心をもつたため民間企業コースを選択し

PBL学習とは、学習者が主体的に学習を進めて行くという学習法です。具体的に私たちとはこのPBL学習で、ある架空の企画を四つの班に分かれて検討しました。そして最終授業では実際に出版社の方にお越しいただき各班がプレゼンテーションを行いました。各班企画を提案するため、まず出版業界を取り巻く環境を分析し何が問題なのかを考えました。そしてその浮かび上がった問題に對して各個人がさまざまな案を考え班内で何度も議論を重ねました。そして最終的に各班の企画を提案することができました。この班内で議論を何度も重ねてきたことによって、問題発見解決能力

打ち合わせに同席し電話対応等で感じたことは、実際に会社で働いている人と学生の能力差です。打ち合わせでの細部まで詰めて話し合っている様子、電話対応での丁寧かつスマートな対応などには本当に感心するばかりでした。印刷物コピー・発送準備、検定告知パンフレット設置などの仕事も経験させていただきましたが、これらははつきり言つてしまふと誰でもできてしまうような単調かつ地味な仕事でした。

しかしこのような仕事の中にも会社で働いている人と学生の大きな差としてはコミュニケーション能力の力量の違いを感じました。

私が指導してくださいった社員

とコミュニケーション能力が養われたと感じています。

◆インターネットショッププログラム

の内容について

しかしこのような仕事の中に
も会社で働いている人と学生の
大きな差としてはコミュニケーション
ション能力の力量の違いを感じ
ました。

の方も私と同じ仕事をすることがありました。私よりも格段に効率よく仕事をしていました。打ち合わせや電話対応などで発揮される能力に差があるのはある程度予想はできていますが、このように単調かつ地味な仕事を飽きずに丁寧かつスマートに行える力がどんな仕事にとつても基礎になり大切だということが一番身に染みて感じたことです。

◆インターンシップで学んだことと、今後活かしていきたいこと

インターンシップは自分の入社したい企業や面接で有利になるような企業でなければ意味がないという人がいます。しかし私はそうは思いません。どの企業のインターンシップでもそこで感じられる雰囲気は普段の学生生活をしているだけでは絶対感じできません。

この雰囲気や職務に関する適性などを社会に出る前に知ることができたことが今回のインターンシップでの一番の収穫だと思っています。

この経済学部におけるインターンシップ民間コースでの貴重な経験を就職活動、またその先の社会に出てからの仕事の中で活かしていきたいと思います。



インターンシップを体験して

「株式会社SCC」

経済学部公共環境経済学科三年 木村亮太

私は、二〇一〇年八月一七日より三一日の約二週間にわたり株式会社SCCのインターンシップに参加しました。SCCのインターンシップでは北は北海道、南は九州まで、全国の大学生・大学院生、計二六名が参加し、四班に分かれてグルーブワークを行いました。

◆インターンシップで学んだことと、今後活かしていきたいこと

インターンシップは自分の入社したい企業や面接で有利になるような企業でなければ意味がないという人がいます。しかし私はそうは思いません。どの企

業のインターンシップでもそこまで感じられる雰囲気は普段の学生生活をしているだけでは絶対感じできません。

この雰囲気や職務に関する適性などを社会に出る前に知ることができたことが今回のインターンシップでの一番の収穫だと思っています。

この経済学部におけるインターンシップ民間コースでの貴重な経験を就職活動、またその先の社会に出てからの仕事の中で活かしていきたいと思います。

◆インターンシップ中に印象に残っている出来事

今回のインターンシップで体験したことはどれも大変印象深く、挙げればきりがありません。毎日朝早くから集まつてグループみんなで課題に取り組んだこと。連日のようないンターン後、班内の子で集まり夕食に出かけ課題についてだけでなく、大学生活のことから将来について展望を語り合つたこと。最終日、今まで班内で練りあげてきた

簡単に言いますと、お客様のWEBサイトを効率化するためにお客様と相談しながら問題点を見つけることや、使いやすい仕様を考案していくことなども多々ありました。使いやすさなど、仕様面でお客様と相談しながら問題点を見つけることや、使いやすい仕様を考案していくことなども多々ありました。使いやすさなど、仕様面でお客様と相談しながら問題点を見つけることや、使いやすい仕

とは『自分の言いたいことを簡潔に分かりやすく伝えること』です。同じインターンシップで仕事に取り組む際の心構えからスチームの立て方を教わりました。

◆インターンシップで学んだことと、今後活かしていきたいこと

とは『自分の言いたいことを簡潔に分かりやすく伝えること』です。同じインターンシップで仕事に取り組む際の心構えからスチームの立て方を教わりました。

◆インターンシップ体験が進路決定や就職活動に与えた影響について

自分の知らない企業や興味のない業界についても積極的に調べるようになつたことです。インターンシップを通して世の中には自分の知らない仕事がたくさんあること、先入観や思い込みで仕事や企業を決めつけていたということを実感しました。

そのため現在ではできる限り説明会やセミナーに参加し、仕事や業界について理解を深めることや、実際に社員の方とお話しすることで企業の雰囲気、良いところや悪いところを知るようになります。

◆大学卒業後の進路について

具体的な企業や業界については定まっておりませんが「幅広い業界・企業と関われる仕事」ということを軸に就職活動をしています。仕事を通して多くの企業に貢献することで今日よりもちよつと良い未来、世界を作れるお手伝いができると考えています。

このような話は今回のインターンシップだけではなく、これから的生活や社会に出てからも大事なことだと考えています。そのため、インターンシップ後、「自分の言いたいことを簡潔に分かりやすく伝えること」を常に意識するように心がけています。

少子高齢社会を担う経済学部生の印象

経済学部助教授
松浦 司



え、あの先生が！シリーズ⑦

のかとすることを経済学の分析手法の1つである成長会計といふ手法を使つて考えたいと思います。成長会計とは、経済成長率は①生産性の成長率、②労働率成長率、③資本の成長率の3つから成り立つてゐるという考え方です。

私は2009年に大淵寛先生の後任として、人口論の講座担当として中央大学に赴任しました。私の専門は人口・労働・教育といったテーマを対象にして、データを使った分析を専門にしております。よく、人口論を担当しているとお話ししますと、日本は少子高齢化となつて本当に大丈夫なのか、という質問をされたりします。

農村から都市への人口移動による労働力成長率の高さ、勤労世代が相対的に多い（人口学では人口ボーナスといいます）ために生じる高貯蓄率による資本成長率の高さ、高い識字率で示されるように教育熱心であることや勤勉であることによつて生じる生産性成長率の高さによつて、因について成長会計を使うと、説明できます。

ぐとともに、教育投資を積極的に推進することによって生産性を上昇させることができ日本経済成長にとって必要なことです。つまり、今後の日本の経済成長にとって教育が非常に重要なことがあります。

そこで、若者の教育の実際について、私が中央大学に赴任して学生と接したうえでの感想について述べたいと思います。昔から若者世代に対する批判は存在しますが、その批判内容については時代によって特徴があります。現在の若者世代に対する

ある学生の国際化を促進し社会に貢献できる人材育成をするために、金銭的、人的支援を含めて大学としてすべきことはまだあります。

研究テーマも研究キャリアも非常にドメスティックな道を歩んだ、経済学部教員最年少といふある意味、批判される若者代表（？）とも目される私に対しても、そんなことを言うお前はどうなんだ、というツッコミが来るのは当然予想されますが・・・

2011年2月28日 第44号
発行 白門経友会常任幹事会
発行人 白門経友会編集委員長
鈴木秀男
〒192-0355 八王子市掘之内817番地
鈴木様方
TEL 042 (676) 8266 (代)
FAX 042 (674) 8668
E-mail: dome88@themis.ocn.ne.jp
郵便振込口座 00180-7-753686

編集後記 キヤリアデザインの授業今
年で三年目となりました。
学生達にとって今後の人生設計をどう
の様に描くかという事は最大の関心
事です。白門経友会では毎回十人程度
の講師を派遣しております。卒業
生の実体験を聞くということは彼ら
にとって有意義な事だと思います。
会員の皆様の応援を宜しくお願ひい
たします。

編集後記

記念講演会場 中央大学多摩キャンパス

総会のご案内